



進捗報告

王子町マンション様
(仮称)

**10月の完成お引き渡しに向けて
 順調に施工を進行中です**

三光建設工業では様々な建設に携わらせていただいております。今回は現在建設中の『(仮称)王子町マンション』様の進捗状況について、工事部の田村陸がお伝えします。

(田村) こんにちは、工事部の田村です。こちらのマンションは昨年の8月から施工が始まりました。鉄筋コンクリート造りの10階建てマンションで、現在は上階では躯体工事を行い、下階からは内装工事に着手しております。

●2階の状況

2階は部屋の内装工事が完了した状態です。(写真①)軽鉄とは軽量鉄骨の略で、壁天井の骨組みに使用されます。(写真②)木枠とはサツシヤ建具の枠を指します。(写真③)。この後は仕上げ工事を行う予定です。

●3階の状況

3階はまだ内装工事前の状態です。(写真④)ユニットバスや配管系は設置完了しています。(写真⑤)。各階ごとに、段階に応じて同時進行で施工をしています。

●通路・エレベーター

通路(写真⑥)や、エレベーターが入る前(写真⑦)は、このような状態です。

現在、予定よりもやや早めに施工は進んでおります。10月末には、完成お引き渡しの予定となっております。これからも安心・安全に施工を進めて、より良い建物をお引き渡しができるように尽力いたします。

完成予想パース

出向先の福岡県で
現場監督やっています

出向社員レポート 宇都宮裕史編

新しい環境で自力をつけています

こんにちは。工事部主任の宇都宮裕史です。昨年11月に出向辞令を受けまして、現在は福岡県福岡市早良区荒江で10階建てマンションの建設現場監督を務めています。上の画像はそのマンションの完成予想パースです。

● 福岡の現場で感じたこと

今まで携わってきた大分の現場では、敷地が広い場所が多かったのですが、福岡では狭小地での施工方法を学んでいます。また、使う材料に違いがあったりと地域性を感じます。

● 現在の現場での学び

つい最近まで基礎工事（建築物が沈んだり傾いたりしないように支える土台となる部分の工事）を行っていました。隣の境界に近いので、地盤沈下などを防ぐように鉄骨と鉄板で土を止めています。（写真①）鉄板を使うことは初めてでしたが、大きな鉄板を使うことで作業工程の手間が減ることが分りました。

初めてといえば、同じく基礎工事で使ったラス型枠。（写真②）ラス型枠とは、コンクリートを流し込む際に使用する型枠のことで、金属製のメッシュ（ラス）を用いた捨型枠工法です。ラスからセパレータ（型枠の厚みを一定に保つ金物）が取れるので打設時の側圧の心配が無くなります。鉄板やラス型枠は、今回の福岡出向で得た新しい知識です。

● プライベートの楽しみ

大分から一緒に出向している、工事部の加藤久典と食べるお好み焼きです。（写真③）その日の施工の振り返りを2人で話しながら、食べています。自分はチーズ玉が好物です。

● 今後の意気込み

自力が上がってきているのを感じています。大分に帰る時には、協力会社の皆さんや社内の皆さんに成長した自分がみせられるように、さらに力をつけていきたいです。



編集
後記

今号では工事の進捗報告や出向社員の報告を特集しました。大分はもちろん福岡など様々な現場で、皆それぞれが経験を深めて技術を磨いています。次号はこの春を迎える新入社員特集です。



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらもご覧ください。



HP



FB



最新情報
発信中！